

# 第57期 中間報告書

平成28年4月1日 至 平成28年9月30日

57<sup>th</sup>  
2nd. QUARTERLY REPORT



日立精工株式会社

証券コード 7927

## ムトーは、最適製造・最適調達を ワールドワイドに展開します。

当社は、射出成形用金型の設計・製作、及び精密プラスチック部品製造の分野において長年高い技術を築き上げてきました。急速に発達する3D設計やNC加工を取り入れ、コア技術に更なる磨きをかけ、確かな品質の製品をお客様へお届けします。金型製作の高い技術力とグローバル供給網を“強み”に、アジアから世界へ、成長市場・新規市場へと事業領域の拡大を推し進め、高収益体質を目指します。

### 超精密製品製造に 対応する体制

24時間体制の自動化ラインでニーズに柔軟に応え、品質向上とコスト削減を実現しています。また、形状や規格等、お客様から求められる厳しい検査基準に対し、高い計測技術で応えています。



### 金型から造る技術力

成形品の量産に加え、お客様のご要望に応じて、上流工程の企画・設計段階から参画し、研究開発・試作金型の製作から金型単体の外販に製するまで事業の領域を拡大させ、収益の幅を広げていきます。



### プラスチック 射出成形の 一貫生産

### 顧客に近いアジア地域 での圧倒的な生産力

現在、製品の4割をアジア地域で生産しています。日本と海外の各生産拠点で金型設計・加工データを共用できるネットワークを構築。低コストでシームレスに金型設計からプラスチック成形品を量産できる生産体制はお客様から高く評価されています。



### 環境配慮も 追求した塗装・組立

顧客の求める環境基準への適合はもちろんのこと、「取り組もう環境保全・大地の恵みを次世代へ」を環境スローガンに、社員教育の徹底や各工程における環境汚染物質、廃プラスチックの削減を実行しています。





株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの第57期第2四半期（平成28年4月1日から平成28年9月30日）が終了いたしましたので、ここに事業の概況と中間決算についてご報告申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長

田中 肇

## 第57期上期を振り返って

### 事業環境と業績レビュー

第57期上期は、自動車関係を中心に全般的に好調に推移いたしました。

また、金型の販売強化・生産体制の構築により、金型の受注は、試作を中心に各社とも好調に推移しております。加えて、上期後半においては、スマートフォン向け電子ペンの量産により売上が大幅に増加いたしました。

しかし、平成28年4月に発生した熊本地震の影響によりデジタルカメラに使用するセンサーの供給が停止したため、上期前半において連結子会社の豊武光電（中国）の売上が当初の見込みより大幅に減少いたしました。ただし、上期後半においては、そのセンサーの供給は正常化し、稼働状況も回復しております。

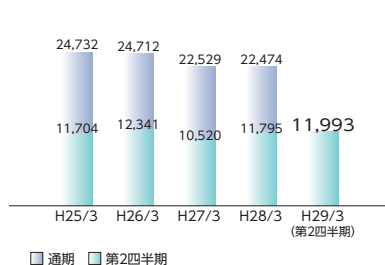
これらにより、上期前半の損失をカバーし、中間決算におきましては、営業利益を確保しております。

当社グループでは、お客様に満足していただける製品づくりへ品質改善活動を継続的に取り組む一方、前期より低コスト構造の構築及び財務体質の強化に努めてまいりました。販売面においては、積極的な新規取引先の開拓により前期から血糖値計など医療機器部品の生産・納入が本格的に始まっております。

その結果、第57期上期の業績は、売上高119億9千3百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益8千万円（前年同期は営業損失1億2千6百万円）、円高基調の継続に伴う為替差損などにより経常損失は2千3百万円（前年同期は経常利益7千3百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は6千3百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1千7百万円）となりました。

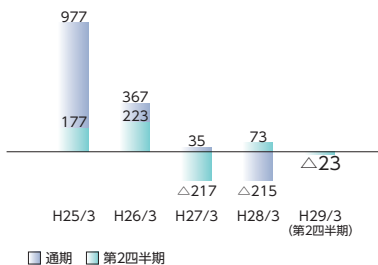
## ◆売上高

単位:百万円



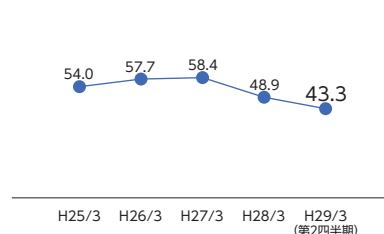
## ◆経常利益

単位:百万円



## ◆自己資本比率

単位:%



## 今後の展望と通期の業績見通し

10月以降の下期におきましては、引き続き自動車向け部品や試作を含む金型生産は好調に推移するものと思われませんが、一方で、当初予定していた機種の子会社が供給先都合により生産停止となり、また、中国子会社において家電用部品の売上減少などが見込まれます。その他の外部要因としては、タイにおける政情不安が当社の業績に与える影響はないものの、円高基調の継続に加えて、11月に行われた米国大統領選挙後の米国景気や金融政策の動向により生じる世界経済への影響など、今後の経済環境や為替動向に注視が必要な状況が続いております。

当社グループでは、引き続き付加価値の高い金型販売の強化、3D-MIDをはじめとする新分野の市場開拓に努めてまいります。また、海外における現地営業を強化し、日系メーカーだけでなく現地企業への営業活動に注力してまいります。

以上の要因を踏まえ、通期の連結業績は、売上高220

億円、営業利益1億5千万円、経常利益1億円、親会社株主に帰属する当期純利益8千万円を予定しております。

## 株主の皆様へメッセージ

前期において多額の減損損失を計上したことにより、期末配当は無配とさせていただきました。当期におきましても、当社グループとして早い業績の立て直しを図り、経営基盤・財務体質の強化が最重要課題と判断し、引き続き中間配当は無配とさせていただきます。

前期の反省を生かし、ムトーグループ10社すべてが経常的に利益を出せるように管理を徹底し、損失が見込まれる場合は速やかに経営資源を集中させ、問題点を解決してまいります。

また、配当につきましては、一刻も早く復配できるように業績の向上に邁進してまいります。

株主の皆様には、長期的な視野に立って、今後とも、より一層の支援を賜りますようお願い申し上げます。



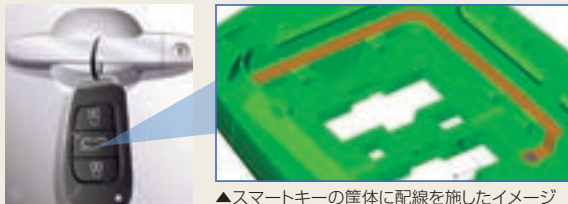
② 海外ニーズに対応し、  
現地生産体制を増強

① 3D-MID による  
「自動車用スマートキー」の試作品製作を受注

大英エレクトロニクス(株) (東京都八王子市)

「3D-MID」とは、3DメカニカルCADで設計された筐体と2D PCB CADで設計されたパターンをNEXTRA (3D PCB CAD) ツールを使用して3次元の筐体にパターンの配線を行ないます。

製品の小型化・薄型化・軽量化及び高機能化への対応技術として注目を集めている技術です。



▲スマートキーの筐体に配線を施したイメージ

ムトー(タイランド) CO.,LTD. (タイ・サラブリー県)



平成24年2月に設立したムトー(タイランド) CO.,LTD. では、成形機36台が稼働しております。

日本人技術スタッフ5名の支援のもと派遣を含む総勢489名(平成28年9月現在)が活躍しており、主に、タイ国内向けに家電部品、自動車向け部品を納入しております。また、金型製作にも力を入れており、金型を内製により1ヵ月あたり10型の生産に向けた設備投資、日本とベトナムから技術員を派遣並びに金型設計・加工データを供給し、精度の高い金型づくり、金型設計からプラスチック成形品を量産できる生産体制を構築しております。

ムトーテクノロジーハノイ CO.,LTD.  
(ベトナム・ハノイ市)



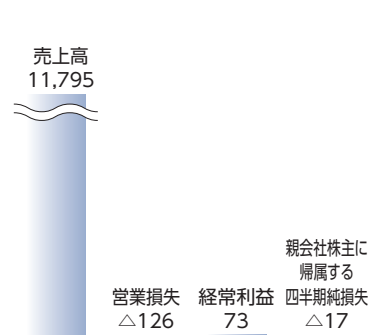
ムトーテクノロジーハノイCO.,LTD.では、前期に成形機36台を増設し、現在147台が稼働しております。

日系メーカー向けプリンター用部品を主に、1ヵ月あたり売上250百万円、平均63,300,000pcs(前期比15%増加)の部品を生産しております。

また、マシニングセンターや放電加工機などの増設により、金型生産能力をこれまでの1ヵ月あたり27型から3割増へ拡充しております。

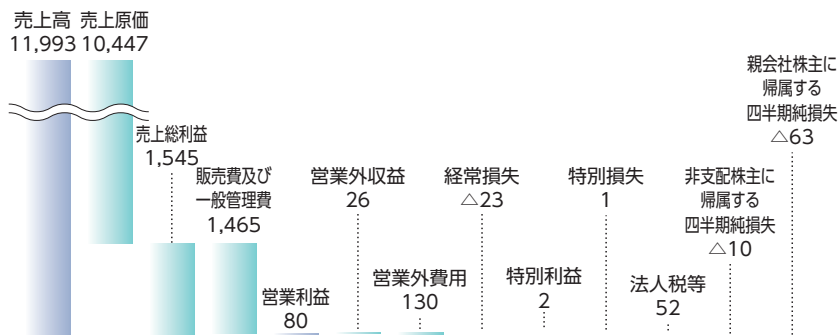
### 収益の状況(連結)

(単位:百万円)



H28/3 第2四半期

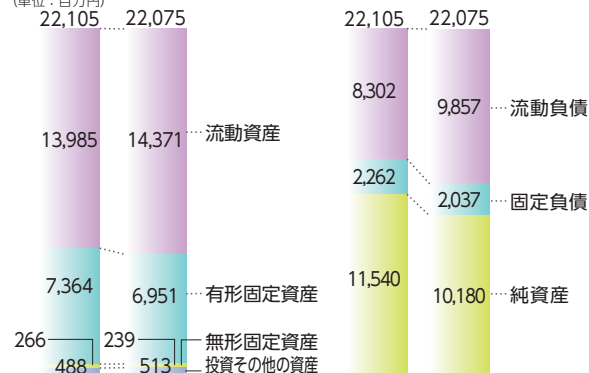
(単位:百万円)



H29/3 第2四半期

### 資産の状況(連結)

(単位:百万円)

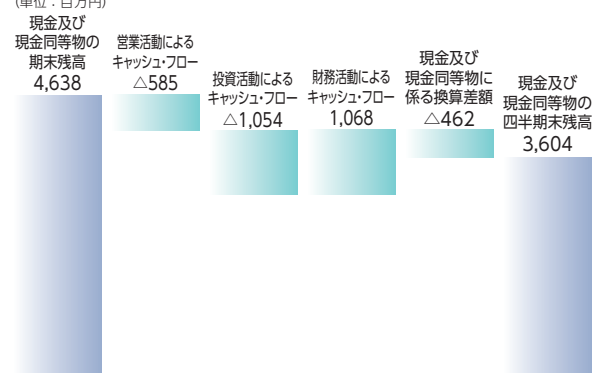


H28/3期末 H29/3 第2四半期末

H28/3期末 H29/3 第2四半期末

### キャッシュ・フローの状況(連結)

(単位:百万円)



H28/3期末

H29/3 第2四半期末

➔ 会社概要

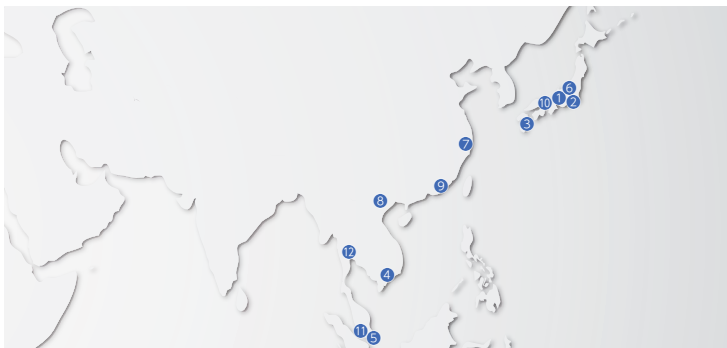
商号	ムトー精工株式会社	
本社所在地	岐阜県各務原市鷺沼川崎町1丁目60番地の1	
ホームページ	http://www.muto.co.jp/	
創業	昭和31年6月	
資本金	2,188百万円	
従業員数	連結4,779名	個別229名

➔ 事業の内容

当社は、プラスチック成形用金型及びプラスチック精密部品の製造・販売、各種設計業務並びに技術支援等のサービス業務、プリント配線基板の設計・検査・販売及び音響機器、映像機器、光学機器、コンピュータ関連機器などの精密プレス部品製造・販売を行っております。高度な専門技術を中心に、金型設計から金型製造そしてプラスチック成形、二次加工として塗装 (UV)・印刷・レーザーカット、そして最終工程の組立までの一貫生産を行っております。

また、海外戦略として、本社工場をマザー工場と位置付け、中国・東南アジア方面へ生産拠点のグローバル化を推進し、最適製造・最適調達システムをワールドワイドに展開しております。

➔ グローバルネットワーク



- ① 本社
- ① 岐阜工場
- ① テクニカルセンター
- ② 東京営業所
- ③ 大分営業所
- ④ ムトーベトナムCO.,LTD.
- ⑤ ムトーシンガポールPTE LTD
- ⑥ 大英エレクトロニクス株式会社
- ⑦ 豊武光電 (蘇州) 有限公司
- ⑧ ムトーテクノロジーハノイCO.,LTD.
- ⑨ 武藤香港有限公司
- ⑩ タチバナ精機株式会社
- ⑪ ハントンスプリングインダストリーズSDN.BHD.
- ⑫ ムトー (タイランド) CO.,LTD.

➔ 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	7,739,548株 (自己株式552,649株を含む。)
株主数	2,140名

➔ 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
田中肇	480	6.68
ムトー精工従業員持株会	379	5.28
船橋和夫	373	5.19
株式会社大垣共立銀行	328	4.58
株式会社十六銀行	270	3.77
ビービーエイチ フォー ファイデリティロー プライズド ストック フアンド	268	3.73
名古屋中小企業投資育成株式会社	247	3.44
株式会社三菱東京UFJ銀行	220	3.06
竹田本社株式会社	200	3.06
国立大学法人岐阜大学	200	2.78

(注) 1.当社は、自己株式552千株を保有しておりますが、当該株式には議決権がないため、上記の大株主から除いております。  
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



# ムトー精工株式会社

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告方法	電子公告 ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 電子公告のホームページアドレス <a href="http://www.muto.co.jp/hp-data/koukoku.htm">http://www.muto.co.jp/hp-data/koukoku.htm</a>
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同 取 次 窓 口	三井住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店

### (お知らせ)

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



この印刷物は、  
植物油インキを  
使用しています。